

■エコフレ 7月の話題

「エコフェスひたち2015」

7/18(土)の報告

主催:エコフェス実行委(事務局:日立市環政課))

■五輪につなぐ エコツーリズム

●今年も活躍した若者6人

「水素エネコーナー」の前に、若者が五輪マークのゴール・エコボール・ビンゴクイズで子供を誘い、「五輪につなぐエコツーリズム」をアピールしました。



転がしてゴールに入れ、
カイズの問題をゲットしよう



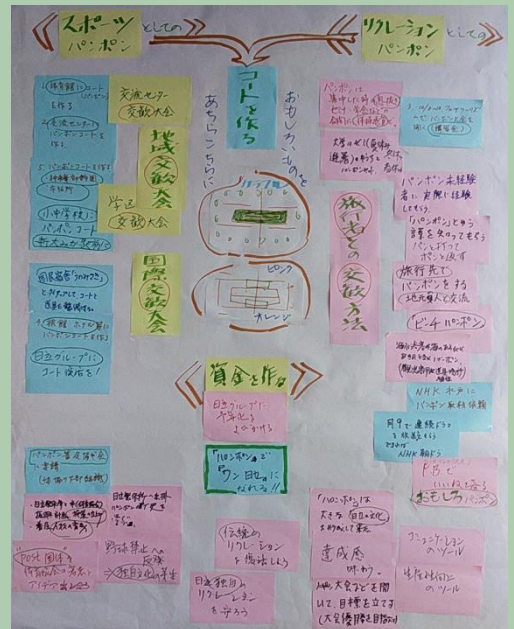
ネット動画を会場で見られるよう、若者が機材を提供しました。



■5年先を意識したワークショップ

パンポンで地域創生

パンポンが4年後の茨城国体で「デモンストレーション種目」に選ばれマスコミも取り上げています。しかしネットの書き込みには「パンポンはすごく面白そうなのに、社員や市民でないとは参加出来そうにない！」というのがあります。会場では先ずこれを見て、誰もがいつでも楽しめるにはどうすればよいか？意見を出し合いました。午前・午後1.5時間づつ2回。会場からの飛び込みも含め延べ12人が参加しました。



スポーツとリクレーション、両方の視点から、多くの場所に面白いぱんぽんコートを作ろう。事業者にも働きかけ、**ワン日立**を地域ぐるみで実現しよう。百年塾フェスタでも実践して見せ、フェアツーリズム国際大会でも着地発信型の交歓材料となることを目指すことにし、**日立市地域創生有識者会議**のメンバーにも伝えました。